

令和6年7月1日

立教187年

7月号
第622号



発行所

天理教字仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

布教推進講話 8月24日(土) 講師 平野晋先生

子ども おぢばがえり

2024 7/27~8/4

たくさんの こどもたちを
お誘いさせていただきます！



子どもおぢばがえり公式 HP はこちら



(QRコード)

(URL)

<https://kodomo-ojibagaeri.com/>



散歩道

今日は雨が降っている。久しぶりの雨で空気もひんやり(のどの調子)も良い。車の水しぶきで通りは雨の強さを伝えていく。いつもなら通学の子供たちや学生の行きかう姿、声で朝の一日が始まるが雨の音で消され、静かだ。朝は子供たちへの挨拶で日常が始まるといった感じた。何気なく使う言葉だが毎日元気をもたらしてくれる。▲さて、英語で「プレゼント」という言葉は「贈り物」という意味と、もう一つ「今、現在」という意味があるようです。神様はすべての人に今、現在生きているという時間をプレゼントされているわけです。▲さらにまた「サービス」という語がありますが、「奉仕、役に立つこと」という意味のほかに「礼拝、つとめ」という意味もあります。私たちは毎日「プレゼント」をいただいているお礼に毎日感謝とお礼の「サービス」つまり「おつとめ」をさせていただきたいと思えます。▲ちなみに「ドレミファソラシド」の「ソ」の音で挨拶すると耳に入りやすく、明るく楽しい印象になります。何かの本に書いてありました。少しだけ意識してみましよう。

一 理 塚

このよふをはじめだしたるやしきなり にんげんはじめもとのおやなり

おふでさき六号55

「この世を始めだしたる屋敷なり、人間創め元の親なり」と親神様はおっしゃいました。

立教の元一日、天保九年十月二十六日よりさかのぼること九億九万九千九百九十九年の昔、なにもなかったこの天地の間に人間をつくる事を考えつかれ、火と水(温み、潤い)を造り与えて、人間が成長していくことのできる環境を、工夫苦心を重ねて順次整備されたというお話が続いていきます。

人間についての道具(目、耳、鼻、口、左右の手足、男女の道具)のそれぞれの形配置、また体の中の構造など、考えれば考えるほど不思議でしかも合理的なデザインは、人間がいかに楽しんでくれるかと想像しながら、苦労して創造された親神様の思いが伝わってきます。

人間が互いに助け合って、お互いを喜ばせ、その喜んでくれた顔を見て、それぞれの喜びとする。

親神様のふところと説明された、宇宙でただ一つの地球の環境の中で、どうすればお互いの喜びを生み出す暮らしができるのか。

また貸し与えられた身体をどう使うことで、喜びを増やしていく生活ができるのか。

地球上のあらゆるものが、人間が「陽気ぐらし」へと向かうことのできる材料であり、環境だと言われているような気がします。

その原初、人間を造られた場所こそ、ちば(現在の奈良県天理市三島町)なのだ、お示しくださいました。

われわれは、悲しいにつけ、苦しいにつけ、嬉しいにつけ、生んでくれた親を思い、その懐に抱かれた日を思い出します。

同じように、今存在する自分に喜びを見いだした時、また、親神様に生かされているのだと気付いたとき、人は人類のふるさと・おちばに帰らなくてはならないとの思いを持つでしょう。親神様は、その帰ってきた喜び勇んだ子どもの姿を見て共に喜ぶと仰せられたのです。

「ここは、この世の極楽」とも仰せられました。

仏教のお話では、死んでしまわないと味わえないという究極の幸せを、生きながらにして味わうことのできる場所が「ちば」なんだよとお教え下さるのです。今月二十七日から「こどもおちばがえり」が開催されます。この期間は特に夏休みの子どもたちが喜ぶ様々な行事が用意されています。子どもさん、お孫さんを連れて、是非おちばがえりを務めたいですね。



“暮らしの場”で教えに親しもう



聴いて味わう

<https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/kurashinobade/>

(URL)



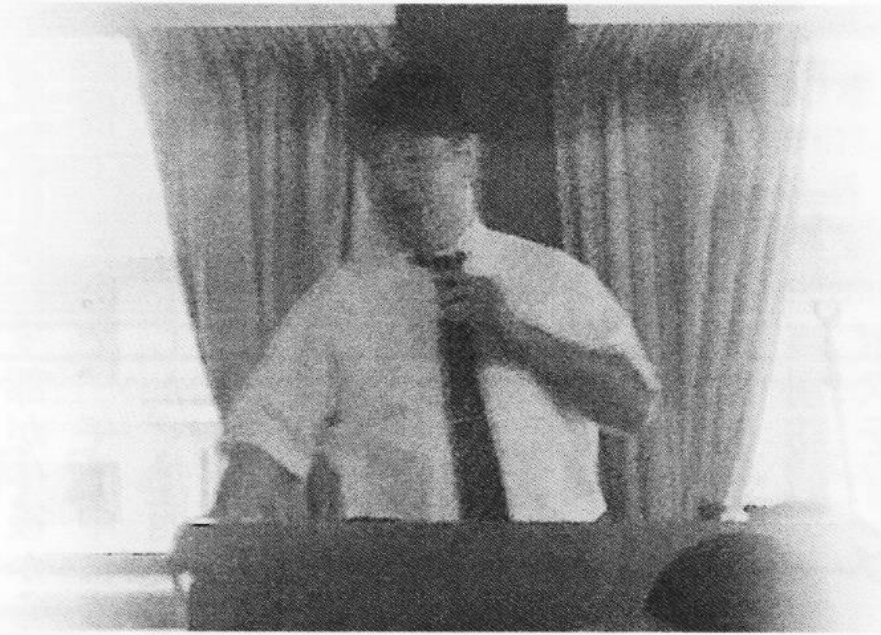
(QRコード)

- ・動画「天理の教えチャンネル」(布教部)
- ・音声番組「天理教の時間」(道友社)
- ・朗読動画「朝の信仰読本」(道友社)
- ・朗読動画「神様からの宿題」(道友社)
- ・動画「千遍」(青年会)

おかえり講話より

黒石分教会長

井筒 悟 先生



今日から不平不満、愚痴泣き言、悪口文句をやめるのですよ。それは急にはやめられません。やめられませんが、やめようと思っただけでやめる人とは、それが分からないでやめている人では大きな違いがあります。神様は分からないのが一番罪だといけどね。だから分かっているとい

うことはすごく大事です。二つ目。やめていたら、必ず頼まれるということが多くなっできます。頼まれるのですよ。色々頼みやすくなるからね。そうするといろんなことを頼まれたときに、絶対断らない。はいわかりました。やらせていただきます。で、やるのです。そうすると、どんどん頼まれる中に同じ方向で頼まれることがあります。私であれば書いてとか、しゃべってとか。皆さんも得意分野があると思います。その同じ方向で頼まれてきているものが、皆様方の今生、生まれてきた役割使命です。その使命に気づいて生きていける人は、多分百人いれば一人ぐらいですね。使命というのは、自分が書いてきた台本とも言えるし、シナリオとも言えるし、神様がそっちの方がいいよって言ってきた方向だから、必ずうまくいきます。お金がなければ入ってきます。必要な物すべてが整うようにな

るのですよ。私利私欲でなくてですよ。本当に世の中のために、自分が何のために生まれてきたかっていうところに気づくことができたならそうなります。不平不満、愚痴泣き言、文句悪口をやめ、頼まれたことははいと言っただけ。そしてもう一つ。朝起きたら、今日も一日ありがとうって。完了形ですね。まだ一日終わっていないのだけれど、素晴らしい一日をいただいてありがとうございますって、先にお礼を言ってしまうのですよ。そして寝る時も、今日一日、本当に幸せな一日をいただいてありがとうございますって、それを重ねていくと、神様教祖どんどん近づいてくるのですよ。そうすると、何か分からないけれども、どうなっちゃったのか分からないけれども、ものすごく幸せだなという幸せ感が出てくるのですよ。どうしちゃったのだろうっていう。そうしたら、もう思ったことがどんどん

いい方向に実現してまいります。よかったですね皆さん。そして元々の理を勉強しなくても、直感的には分かっていますから。そういうことで宇仁の皆さんが、これからまたものすごいスパー人生を送られるということが、今日で確定しましたので、はい。それに合わせて、臨時収入も入ってくるのですよ。臨時収入が入ったらくださいね。本当に今日は、ありがとうございますました。



『教祖と歩む三年千日』
教会布教実働報告

◎宇仁大教会会場

布教日 六月一日
参加者数 二名
会場 宇仁小学校周辺
内容 戸別訪問
ポスティング

所感 「ようぼく一斉活動日」

でしたが、多可支部が午後からの開催でしたので、午前中に歩かせて頂きました。加西支部は午前だったので、家族二人だけでしたが、お天気の中元気にポスティングできました。

◎屋神分教会会場

布教日 六月九日
参加者数 五名
会場 市川町内
内容 戸別訪問
ポスティング

所感 六月の田植えの準備時期でもあって家におられる人が少なかったののでリーフレットの手渡しとポスティングを勇んでつとめました。

◎貴船分教会会場

布教日 六月某日
参加者数 八名
会場 各地
内容 ポスティング
所感 教会所在地の多可町をはじめ、西脇、加西、小野、神戸、松山と教会所属のようぼく信者がそれぞれにポスティングを行いました。

◎宝浦分教会会場

布教日 六月十一日
参加者数 二名
会場 教会周辺
内容 ポスティング

所感 午後から暑さの中、高鹿喜の奥様とポスティングさせていただきました。チランを直接渡すことを心掛けたと思います。



布教推進講話

<日時> 8月24日(土)
大教会祭典後
<講師> 平野 晋 先生
西大寺分教会長
布教の家岡山寮副寮長



教祖と共に歩む三年千日

大教会布教実働日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』

毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合
戸別訪問・振り返り 午後三時三十分解散

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合
神名流し 午後二時 終了

おぢば通信

五月のうごき

◎別席の誓い

初席者 兵庫中央 一名
道延 一名
神福 一名

をさづけの理拝戴

久樹 宮崎昌史 宮崎さとみ
白井和弥

◎五月帰参者 一五五名 (詰所調べ)

7月行事予定表

6日 青年会例会
9日 婦人会例会
15日 布教実働日
19日 少年会例会
24日 大教会月次祭 午前10時30分執行
26日 本部月次祭 午前9時執行
7月27～8月4日 こどもおぢばがえり

婦人会より

◇大教会炊事当番
7月 豊原
8月 神福A
9月 直属
よろしく
お願いします